令和6年度

青森県中学校教育課程研究集会

【総合的な学習の時間部会】

三沢市立第三中学校 中岫 千春

総合的な学習の時間にかかわる主題

生徒一人一人が、探究的な見方・考え方を 働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを 通して「深い学び」へ向かうための学習指導 と学習評価の工夫・改善

本日の発表について

- 本校の総合的な学習の時間の目標と課題解決及び深い学びに向かうための学習指導について
- 2 「防災」に関わる探究的な授業の様子について
- 3 評価の実際について
- 4 今後の課題について

I 本校の総合的な学習の時間の 目標と課題解決及び 深い学びへ向かうための 学習指導について

(I) 本校の概要について

第三中学校

おおぞら小学校



【学校教育目標】

- Ⅰ 自ら学ぶ人
- 2 心豊かな人
- 3 たくましく生きる人

【本校の努力目標】

- ・夢と志をもち高い目標に向かい、主体的に学ぶ生徒
- ・互いを理解した思いやりと正しい判断で、集団生活の向上に努める生徒
- ・安全な行動をとり、心身の健康づくりに取り組む生徒

(2) 本校が定めた総合的な学習の時間の目標

探究的な見方・考え方を働かせ、地域の産業や文化、防災に関わる横断的・総合的な学習を行うことを通して、よりよく問題を解決し、これからの時代をたくましく生き抜くための資質・能力(社会力)を育成する。

(3) 本校の指導について

〈総合的な学習の時間で扱う内容〉

- ①「地域の産業や文化」
 - →進んで地域に貢献できる人を目指す
- ②「防災」
 - →津波到達区域である地域の特性
- ①②の2本柱を学ぶために・・・
 - → 外部講師や地域の人材の活用
 - → 地域の方々との協働

〈本校がこの時間で育成を目指す生徒の資質・能力〉

【学びに向かう力、人間性等】

- (I) 地域の産業や文化、防災に関わる探究的な学習の過程において、課題の解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関する概念を形成し、探究的な学習のよさを体験活動を通して理解するようにする。 【知識及び技能】
- (2) 地域の産業や文化、防災に関わることの中から問いを見いだし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することを「考えるための技法」を活用しながらできるようにする。【思考力、判断力、表現力等】
- (3) 地域の産業や文化、防災に関わることについての探究的な学習に主体的・協働的に取り組み、互いのよさを生かしながら、よりよい未来の地域社会づくりに参画しようとする態度を養う。

〈全体計画〉

(工作)[四/	
目標を実現するにふさわしい探究	課題
年 地域や学校の特色に応じた課題 (1)「地域を支える基幹産業に取む人々と組織」 (2)「命を守ること〜防災」	り組
2年 地域や学校の特色に応じた課題 (1)「地域ごとの観光資源の魅力 値とそれを支える人々」 (2)「命を守ること~防災」	や価
3年 職業や自己の将来に関する課題 (1)「職業選択と社会貢献及び働 との意味」	〈 こ
地域や学校の特色に応じた課題 (2)「命を守ること~防災」	

探究課題の解決を通して育成を目指す具体的な資質・能力				
【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】		
(1)地域における基幹産業の存在とそこで働いている人々の夢や願いの理解 (2)学校生活における防災への	設定する。 ②情報収集の手段を選択する。 ③事実や関係を把握し、理解	人間関係形成・社会形成能力 課題対応能力 合意形成能力		
対策と課題の理解 情報活用能力 言語能力	する。 ④相手に応じて、まとめ・表 現する。 			
(1)地域ごとの観光資源の現状 と問題の理解 (2)地域における防災に対する 備えと対策の理解	①解決の見通しをもって計画 を立てる。 ②必要な情報を収集し、蓄積 する。 ③多様な情報にある特徴を見	人間関係形成・社会形成能力 合意形成能力		
情報活用能力 言語能力	付ける。 ④相手や目的に応じて、まと め・表現する。			
(1)働くこと、職業による自己 実現への理解 (2)地域や社会における防災に 対する備えと対策の理解	①仮説を立てて、課題解決にあたる。②多様な情報をインタビューで集める。③事象を比較したり関連付け	人間関係形成・社会形成能力 自己理解・自己管理能力 意思決定能力 キャリア・プランニング能力		
情報活用能力言語能力	たりして課題解決に向けて考える。 ④学びを振り返り、学習や生活に生かそうとする。			

〈年間指導計画〉

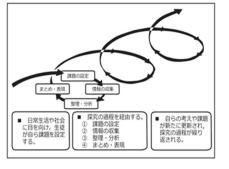
	4月	5月	6月	学習活動 7月	カ及び単元(8月	(ユニット) 0 9月	D概要 10月	11月	1 2 月
1学年 7 0時間	ガイダンス ◎探究課題	地域発見 「地域を3 地域に	見学習 をえる基幹産 は基幹産業に	防 災 学 業に取り組む かかわる施設	図 (年間を 図 (年間を 人々と組織」 等が数多くる	通して) 」「命を守る あることをき		本験学習	災> (12) 発表会 る人や組織の取組を追究すると
2 学年 7 0 時間	ガイダンス ◎探究課題	地域調 3 「地域ごと 地域に 3	で学習 この観光資源 ある観光資源	防 災 学 の魅力や価値 を知ることを	習(年間 とそれを支; きっかけに、	を通して) える人々」「 、町づくりの	修学旅行 命を守ることへ 在り方を考え、	〜防災」 、他の都市で	<防災> (12) 発表会 の観光資源との比較をする中で、 と社会とのかかわりについて考
3 学年 7 0 時間	ガイダンス ◎探究課題	職業調査	正学習 ペと社会貢献 この意味を捉	防 災 学 及び働くこと えた上での職	習(年間 の意味」「」 場体験学習(を通して) 地域に根ざし によって、本	職場体験学習 た防災への取締 物との出会い	祖」 を通してさら	ト3」<防災>(I2) 発表会 にその意味を追究すると同時に、 に参画する自覚を深める。

<指導方法>

探究スパイラルの中で

- ①課題意識を喚起する指導法の工夫
- ②各教科等との関連を意識した学習活動 の展開<教科等横断的な視点での防災 教育の展開>
- ③言語活動を積極的に取り入れた学習活動の位置付け
- ④対話やコミュニケーションを重視した学習活動の充実
- ⑤地域社会との交流を重視した学習活動の充実<地域とともに歩む第三中>

探究的な学習における生徒の学習の姿



出典 中学校学習指導要領(平成29年告示)解説 総合的な学習の時間編 P9

<指導体制>

①組織

・総合的な学習の時間推進担当 (コーディネーター):教務主任

・学年を中心とした指導 総合部員

・学年へのサポート体制

地域:教頭、地域コーディネーター

防災:防災教育担当

キャリア:キャリア教育主任

②総合部会での各学年の実践と情報の交流を行う。

③学級担任以外の教職員による支援体制を確立する。

2 「防災」に関わる 探究的な授業の様子について

〈本校の総合的な学習の時間(名称:探究タイム)の主な学習内容〉

	l 学年	2 学年	3 学年
表現活動	オリエンテーション まとめの発表会	オリエンテーション まとめの発表会	オリエンテーション まとめの発表会
体験活動	農業体験	立志式・修学旅行	職場体験
進路学習	高校説明会 就職ガイダンス ジョブカフェ体験 職業調べ	現役高校生講話 高校説明会 就職ガイダンス	面接指導学習 高校説明会 就職ガイダンス
保健安全	防災学習	防災学習	防災学習

(1) 防災教育の目標

防災教育

◎平時における「防災・減災」、災害時における「災害対応」

- ①災害発生のメカニズムや地域に起こりうる災害について理解し、 災害時に危険を予測し安全を確保することができるようにする とともに、日常的な備えができるようにする。【知識及び技能、 関心】
- ②災害における危険を認識し、思考決定や行動選択について的確に思考・判断し、主体的に行動できるようにする。【思考力、判断力、表現力等、主体的行動】
- ③平時から、自ら進んで他者や地域の力と関わり、助け合い、支えあうことを通して、災害発生時などに人として取るべき行動の根底となる思いやりや感謝の心、態度を育む。【学びに向かう力、人間性等、社会貢献】

防災教育

(2) 重点的に育成を目指す資質・能力

- ア 災害時に備え、知識・技能を身に付け、防災・減災に自分事として取り組もうとする力
- イ 冷静に判断し、自らの命を守り、臨機応変に自らの安全を確保する力
- ウ 自ら進んで他者や地域の力となり、災害時の対応や地域に協力し参画する力

(3) 各学年における防災教育の目標

	知識・技能・関心	思考力・判断力 ・主体的行動	学びに向かう力・人間性 ・社会貢献
1 学 年	・自然災害について知るとともに、 地域の状況を捉えることによって、 災害の備えについて考え、防災意 職の向上を図る。	・災害に対して適切な行 動ができる。	・身近なボランティア活動 に気付き、自主的に取り 組もうとする。
2 学 年	・応急手当の技能を身に付ける。 ・地域の災害特性に気付くとともに、 先人の被害への備えなどを調べ、 地域における防災体制を考える。	・防災に関する日常の備 えを見直す。	自己の安全ばかりでなく、 他の人々の安全にも配慮 できる。
3 学 年	・地震のメカニズムを理解し、安全 で快適な町づくりをするために必 要な環境整備について関心をもつ。	・災害等の非常時にも、 地域社会の一員とし て、自主的に地域の 方々と協働できる。	・災害時における学校が果たす役割について理解し、 学校と地域の人々とのつながりについて考える。

〈防災学習の様子〉

防災教育



〈令和5年度総合的な学習の時間における 「防災学習」各学年年間 | 2時間〉

防災教育

月	主な取り組み	活動形態	評価の観点
5月	5月防災学習「垂直避難訓練・車いす体験」	体験	知識・技能
6月	6月防災学習「教科等横断的に津波を学ぶ①」 ①「津波対応避難を見直そう」(I 学年) ②「非常時の持ち出し品・日頃の備蓄」(2 学年)	学年での話 し合い活動	知識・技能
7月	7月防災学習「教科等横断的に津波を学ぶ②」 ③「地域学校協働防災訓練に向けて」(3学年)	学年での話 し合い活動	知識・技能
8月	8月防災学習「駆け足での津波対応避難訓練」	体験	思考・判断・表現
9月	9月防災学習「三陸大津波記念碑見学」	体験	主体的に学習に取り 組む態度
11月	Ⅰ Ⅰ 月防災学習「避難訓練②振り返り」	話し合い活 動等	主体的に学習に取り 組む態度
2月	2月防災学習「HUG〜避難所運営ゲーム」	体験	主体的に学習に取り 組む態度



【防災学習のまとめ活動】 3 学年:発表資料等作り 1、2 学年:発表活動【思考・判断・表現】

3 評価の実際について

<学習の評価>

①学校で設定する評価の観点

【知識・技能】

【思考・判断・表現】

【主体的に学習に取り組む態度】

②評価方法の充実

信頼される評価、多面的な評価、学習状況の過程の評価に努める。

例)発表やプレゼンテーションなどの表現による評価

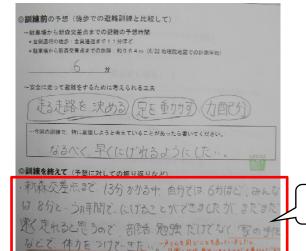
レポート、ワークシート、ノート等の制作物による評価

学習活動の過程や成果などの記録や作品を計画的に蓄積したポートフォリオを活用した評価 評価カードや学習記録などによる生徒の自己評価や相互評価

教師や保護者、地域の人々等による他者評価

- ③観点別学習状況を把握するための評価規準・基準の設定
- 4個人内評価の重視
- ⑤指導と評価の一体化の充実
- ⑥学期末、学年末における指導計画の評価実施
- ⑦授業分析による学習指導の評価の重視
- ⑧総合的な学習の時間発表会での保護者による評価の実施

<評価の参考にしているもの> ①学習プリント



「十分満足できる状況」

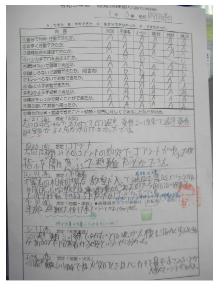
②あおもりお守りノート



「○○の近くで取るべき 行動とその理由」において、自分事ととらえ、 考えを書いている

「おおむね満足できる状況」

③評価を指導改善に生かした振り返りシート



- ・感想
- ・疑問に思ったこと

課題解決のヒントとして 活用

↓ より「深い学び」へ

〈参考:まとめの発表として…〉

①「防災教育実践事業」報告



③防災教育モデル指定校として I、2年生全員による発表

②文化祭での「防災学習」の活動報告



④保体委員会を中心としたメンバーで 本校の防災学習の様子を文化祭で発表

4 今後の課題について

(1) 「探究テーマ」の設定とまとめ方

生徒自身がより深く考えられる「探究テーマ」を 一人一人が設定し、調査・体験活動と結びつくまとめ (発表活動)にする。

※活動内容の厳選や整理・改善をしていく。

(2)評価規準の明確化

どのような特徴が見られればどの評価結果になるのかを具体的にした、生徒の【思考・判断・表現】 を評価する「ルーブリック」の作成

- ○今後ますます必要とされる「思考力・判断力・表現力等」の資質・能力を測ることができる。
- ○教員が「生徒の学習」を見取ろうという姿勢で臨むようになる。
- ○全教員が評価することが可能となる。→指導体制がより充実する。
- ○改善につながる。

(2)評価規準の明確化

ルーブリック

・・・・ 生徒の振り返りシート等の内容が、どの尺度に 当たるのかを段階的に評価する基準

Α	十分満足できる	・・・できる ・・・している
В	おおむね満足できる	・・・できる ・・・している
С	努力を要する	・・・できる ・・・している

<基準のレベル例>

- A 活動に基づいて結論を導いており、その結論の根拠もあげている。
- B 活動に基づいて結論を導き出しているが、根拠をあげていない。
- C 活動と関係のない結論を導いた。/結論を導けない。

令和6年度

青森県中学校教育課程研究集会

【総合的な学習の時間部会 指導助言】

六ヶ所村立南小学校 校長 木村 智

令和6年度

青森県中学校教育課程研究集会

【総合的な学習の時間部会】

ご清聴ありがとうございました

三沢市立第三中学校 中岫 千春

「総合的な学習の時間」にかかわる主題

生徒一人一人が、探究的な見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して「深い学び」へ向かうための学習指導と学習評価の工夫・改善

指導助言の流れ

- Ⅰ 総合的な学習の時間とは
- 2 探究的な見方・考え方を働かせるために
- 3 「深い学び」へ向かうための学習指導と 学習評価の工夫・改善

Ⅰ 総合的な学習の時間とは

探究的な学習に協働的な学習を組み込んでいく学び

- 探究的な学習
 <u>試行錯誤し、間違え、戸惑い、どうしてよいか</u>
 <u>分からなくなり</u>、そこで<u>話し合い</u>、調べに行き、
 考え、また試し、乗り越えなくても何とか対処し、
 できるところへと進んでいく学び。
- ・協働的な学習 人から学んだことで自分の考えが更新される学び。

34

2 探究的な見方・考え方を働かせるために

探究的な学習の過程の一層の重視

- ① 課題の設定
- ② 情報の収集
- ③ 整理・分析
- ④ まとめ・表現をスパイラルに。



① 課題の設定

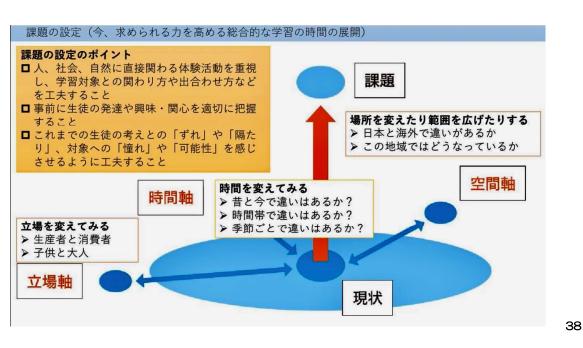
生徒が自分事として課題を設定

そのために

学習対象との関わり方・出会わせ方の工夫を。

- これまでの生徒の考えとの「ずれ」や「隔たり」を感じさせる。
- ・対象への「あこがれ」や「可能性」を感じさせる。 ・・・対象に直接触れる体験活動(含GT)が重要 →その後の息の長い探究活動の原動力に。

33



<三沢市立第三中学校の実践> 避難訓練等の体験活動を意図的に取り入れ、 課題を「自分事」としてとらえさせる工夫

月	<u> 主な取り</u> 組み	活動形態	評価の観点
5月	5月防災学習「垂直避難訓練」車いす体験」	体験	知識・技能
6月	6月防災学習「教科等横断的に津波を学ぶ①」 ①「津波対応避難を見直そう」(学年) ②「非常時の持ち出し品・日頃の備蓄」(2学年)	学年での話 し合い活動	知識・技能
7月	7月防災学習「教科等横断的に津波を学ぶ②」 ③「地域学校控働駄災訓練に向けて」(3学年)	学年での話 し合い活動	知識・技能
8月	8月防災学習「駆け足での津波対応避難訓練」	体験	思考・判断・表現
9月	9月防災学習「三陸大津波記念碑見学」	体験	主体的に学習に取 組む態度
11月	Ⅰ Ⅰ 月防災学習「避難訓練②振り返り」	話し合い活 動等	主体的に学習に取 組む態度
2月	2月防災学習「HUG〜避難所運営ゲーム」	体験	主体的に学習に取組む態度

② 情報の収集

- ・収集する情報は多様であり、学習活動により変わる。
 - →ねらいにより数値化、言語化、感覚的な 情報を選択させる。
- ・課題解決のための情報収集を自覚的に行う。
 - →具体的な体験活動が何のために行うのか 自覚させる。
- ・収集した情報を適切な方法で蓄積する。
 - →ポートフォリオ、データ化等のいずれにするのかを明確にさせ、協働的な学習の場に 生かさせる。

<三沢市立第三中学校の実践>

危険予知訓練、記念碑見学、津波の速さ体感等避難訓練等、多様な方法で生徒に情報収集をさ

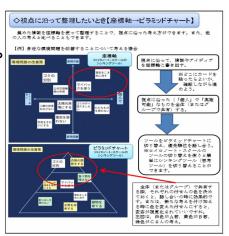
せる工夫



③ 整理・分析

- ・どのような情報が、どの程度 収集されているかを把握させる。※まず教師が把握。
- ・どのような方法で情報の整理 や分析を行うかを決定させる。
 - ※任せるのではなく、 あたかも生徒が 決めたように。

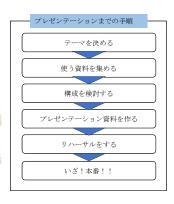
情報の可視化 (シンキングツールの活用)



ロイロノート・スクールでグループ協議(シンキングツールの活用)

④ まとめ・表現

- ・相手意識や目的意識を明確にして、まとめさせたり表現させたりする。
- ・まとめたり表現したりすることが、 情報を再構成し、自分自身 の考えや新たな課題を自覚 することにつながるように させる。
- ・伝えるべき内容を十分に 蓄積させておく。



<三沢市立第三中学校の実践>

相手意識や目的意識を明確にしたまとめ・表現

の工夫



3 「深い学び」へ向かうための学習指導と 学習評価の工夫・改善

ゴール意識・プロセス意識をもつ=安心 (中学生は一緒に共有する)

<u>そのためには</u> <u>単元の目標・評価規準の設定と</u> 見取りやすい評価の場面の精選が重要

<三沢市立第三中学校の実践> どんな生徒にしたいか

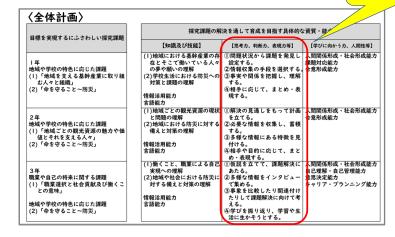
(2) 本校が定めた総合的な学習の時間の目標

探究的な見方・考え方を働かせ、地域の産業 や文化、防災に関わる横断的・総合的な学習を 行うことを通して、よりよく問題を解決し、 これからの時代をたくましく生き抜くための 資質・能力(社会力)を育成する。

<三沢市立第三中学校の実践> どんな生徒にしたいか→全体計画→年間指導計画

<三沢市立第三中学校の実践> どんな生徒にしたいか→全体計画

探究的な学習の過程 を反映した評価規準



46

<三沢市立第三中学校の実践> 単元の目標(防災教育の目標)

(I) 防災教育の目標

防災教育

- ◎平時における「防災・減災」、災害時における「災害対応」
- ①災害発生のメカニズムや地域に起こりうる災害について理解し、 災害時に危険を予測し安全を確保することができるようにする とともに、日常的な備えができるようにする。 【知識及び技能、 関心】
- ②災害における危険を認識し、思考決定や行動選択について的確 に思考・判断し、主体的に行動できるようにする。 【思考力、 判断力、表現力等、主体的行動】
- ③平時から、自ら進んで他者や地域の力と関わり、助け合い、支 えあうことを通して、災害発生時などに人として取るべき行動 の根底となる思いやりや感謝の心、態度を育む。【学びに向か う力、人間性等、社会貢献】

47

45

48

<三沢市立第三中学校の実践> 各学年の単元の目標(防災教育の目標)

(3) 各学年における防災教育の目標

	知識・技能・関心	思考力·判断力 ·主体的行動	学びに向かう力・人間性 ・社会貢献
1 学 年	・自然災害について知るとともに、 地域の状況を捉えることによって、 災害の備えについて考え、防災意 職の向上を図る。	・災害に対して適切な行 動ができる。	・身近なボランティア活動 に気付き、自主的に取り 組もうとする。
2 学 年	応急手当の技能を身に付ける。 地域の災害特性に気付くとともに、 先人の被害への備えなどを調べ、 地域における防災体制を考える。	・防災に関する日常の備 えを見直す。	自己の安全ばかりでなく、 他の人々の安全にも配慮 できる。
3 学年	・地震のメカニズムを理解し、安全 で快適な町づくりをするために必 要な環境整備について関心をもつ。	・災害等の非常時にも、 地域社会の一員とし て、自主的に地域の 方々と協働できる。	・災害時における学校が果 たす役割について理解し、 学校と地域の人々とのつ ながりについて考える。

49

「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料 中学校 総合的な学習の時間 43~45ページ



文部科学者 国立教育政务

育成を目指す資質・能力を踏まえた「単元の評価規準」の作成のポイント

「単元の評価規準」を作成するに当たっては、「内容のまとまりごとの評価規準」を参考にすることが考えられる。作成する際には、単元で行う学習活動やどのような資質・能力を重視するかによって具体的に記述することが求められる。その際、観点毎に次のポイントを参考にして作成することが考えられる。なお、「単元の評価規準」の指導計画への位置付けについては、総括的な評価を行うためにも、生徒の姿となって表れやすい場面、全ての生徒を見取りやすい場面を選定することが大切である。

なお、ここにおいて示した「単元の評価規準」の作成のポイントについては、「中学校学習指導要領 解説 総合的な学習の時間編(平成29年7月)」13~17頁、74~79頁も参考にしてほしい。

(1) 知識·技能

「如難、世紀」の組またへいては「①無今的わ知識の確想」「の自左に活用することが可能わせ能

<三沢市立第三中学校の今後の課題>

<u>評価規準の設定と</u> 見取りやすい評価の場面の精選

「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料 中学校 総合的な学習の時間 43~45ページ

(2) 思考・判断・表現

50

「思考・判断・表現」の観点については、「①課題の設定」、「②情報の収集」、「③整理・分析」、「④まとめ・表現」の過程で育成される資質・能力を生徒の姿として示して、評価規準を作成することが考えられる。

①「課題の設定」については、実社会や実生活に広がっている複雑な問題に向き合って、自らの力で解決の方向を明らかにし、見通しをもって計画的に取り組むことができるようになることが期待されている。

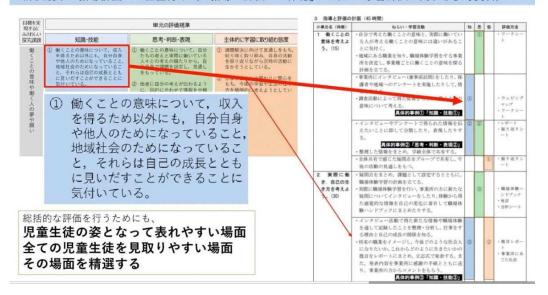
評価規準の設定に当たっては、例えば、

- ・複雑な問題状況の中から課題を発見し設定する
- ・解決の方法や手順を考え、確かな見通しをもって計画を立てる

などの視点で設定することが考えられる。

②「情報の収集」については、情報収集の手段を意図的・計画的に用いたり、解決の過程や結果を見

評価規準の指導計画への位置付け(「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料)



令和6年度

青森県中学校教育課程研究集会

【総合的な学習の時間部会 指導助言】 ご清聴ありがとうございました。

> 六ヶ所村立南小学校 校長 木村 智